第43回ライラセミナー
ロータリー青少年指導者養成プログラム

記録誌

RYLA

ライラテーマ
「学ぼう　SDGs
～今自分にできること～」

IMAGINE
ROTARY

2023年3月11日（土）9:00 ～
3月12日（日）15：30

豊里ゆかりの森

国際ロータリー第2820地区
2022-23年度
Rotary

目次

RYLA セミナー感想文

ライラセミナーに参加して　2820地区ガバナー　大野　治夫 …… 1

第43回ライラ研修に顧みて　青少年奉仕支援アドバイザー　川上 美智子 …… 2

第43回ライラセミナー報告　青少年奉仕総括委員長　高田　稔美 …… 3

ライラセミナー日程表 …… 4

開講式 …… 5

表彰式ならびに閉講式 …… 6

受講者修了課題 …… 7

思い出の写真集 …… 10

ライラセミナーに参加して

国際ロータリー第2820地区ガバナー
大野治夫

第 43 回ライラセミナー（RYLA ;Rotary Youth Leadership Awards　ロータリー青少年指導者養成プログラム）が開催されましたことにガバナーとして心から御礼申し上げます。
ライラとは、地域社会に貢献する次世代のリーダーを育成するプログラムです。
今年のライラはどうしても 1 泊 2 日で開催したいと考え、青少年奉仕委員会の皆様にお願いしてありました。3 年ぶりのリアル開催でしたが、バーベキューや深夜のグループワーク、早朝のラジオ体操や、アクティビティーの参加者の表情を拝見すると、やはりリアル開催での研修はいいものだなと感じました。
リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい・・・。そんな考えを実現するための第一歩となるのがライラです。まさにこの趣旨にそったグループデスカッション、発表は SDGs を自分事としてとらえる素晴らしい機会であり、青少年らしい清々しさにあふれておりました。
参加者は若い新しい友人を作り、嬉々として帰路につきました。彼らがライラで得たリーダーシップのスキルを職場で、社会で今後生かしていくことを楽しみにしています。

第 43 回ライラセミナーを顧みて

RI第2820地区青少年奉仕支援アドバイザー
川上美智子

コロナ収束が間近の 3 月 11 日、12 日、久しぶりに 1 泊 2 日でつくば市豊里ゆかりの森において、第 2820 地区 RYLA セミナー (青少年指導者養成プログラム) が開催されました。ローターアクター、インターアクトター、アメリカ、タイからの青少年交換生、米山奨学生等、国際色豊かな 20 名余りの青少年とロータリアンが対面で参加することが出来、充実したセミナーとなりました。

テーマは、昨年度からの「学ぼう SDGs ～今自分にできること～」を引継ぎ、同テーマで、更に議論を深めました。2015 年に国連サミットで採択された SDGs の 17 の目標と 169 のゴールは、ロータリーの 7 つの重点テーマと合致しており、100 年も前からロータリーが実践してきたことでもあります。

1 日目は、星野幸子氏、私 (川上美智子)、富田敬子氏の 3 名の女性ロータリアンがそれぞれ SDGs に関するワークショップを行いました。それをもとにグループディスカッションとグループワークを行い、それぞれテーマを設定し、アワードに向けまとめの作業を行いました。夕食は、RYLA 恒例のバーベキューで若者同士とロータリアンが交流を深めました。

2 日目は朝のラジオ体操に始まり、フィンランド発祥のアウトドアゲーム「モルック（木の棒を投げてピンを倒す）」で大盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。最後は、グループ毎に議論を深めたテーマ、「誰もが災害時に命を守れるように－避難所のボランティア」、「I believe in future. 助け合いの世界」、「生涯 learning を目指す社会」のプレゼンテーションを行い、2 日間の成果を競いました。参加した青少年が、積極的にリーダーシップを発揮し、SDGs を真剣に「自分事」として捉える素晴らしいセミナーになりました。

第 43 回ライラセミナー報告

青少年奉仕総括委員長
高田稔美

国際ロータリー第 2820 地区第 43 回ライラセミナーを 3 月 11 日土曜日、3 月 12 日日曜日に開催することができました。開催にいたるまで大野治夫ガバナーはじめ地区役員の皆様には多くのご支援とご助言を賜り無事に開催することができ心から御礼申し上げます。また地区内各クラブから青少年奉仕委員長の皆様 2820 地区青少年奉仕委員会の皆様にも多数ご参加いただき設営にご協力いただいた点も御礼申し上げます。

ライラセミナーは如何に受講者の皆様に多くの学びと気付きの場を提供できるかにかかっていると私は考えます。今回も人種、職種、性別、年齢も多様な 24 名の受講者が集まってくれました。事後報告課題に受講者の方が書いてくれた文を記載し、セミナーにお力添えいただいたすべての皆様に心から感謝を申し上げ、ご報告にかえさせていただきます。ありがとうございました。

（以下　ローターアクターより　ライラセミナー感想文

次世代のリーダー育成のためのセミナーを受けられたことに幸福さ、有難さを感じている。

SDGs は、はじめこそ私の、悲しいことが起こっている社会を変えたいという思いに火をつけ、また多くの人がそうなったと思う。しかし、宣伝文句として使われたり、過激な活動で混乱を招いたりしたころから、私は社会に不信感を持つようになった。期限内での解決はごまかされるようにして達成されないのだろうと思っていた。

しかし、ライラセミナーで出会った社会人の方、大学院で学んだり、日本で働いたりしている留学生の方、そしてロータリアンの方が語ることが、私の諦観を変えてくれたと思う。少なくとも、一歩一歩、SDGs や社会の現状を知ることから熱意をもって行ってくれていることは、持続すれば、私たち世界市民の大きな意識改革になる。ライラセミナーには自分が望む社会の姿を自由に心置きなく話せる、それぞれの意見を尊重し、深め合える環境があった。私はそのことに未来への希望を感じた。そして私と同じように未来に諦観を抱く若者にこのことを知らせたいと思うようになった。

未来について、自分について深く考え、議論できる場を私達が作り、社会は変えられる、そう信じることの大切さを伝え続けることで、私のような若者に希望を与えられるリーダーになりたい。

第43回ライラセミナー 日程表

2022-2023年度　国際ロータリー2820地区

	3月１１日(土)	3月１２日(日)	
		起床 ラジオ体操 記念撮影	6:00 6:30 6:45
7:00			7:00
	関係者集合　準備開始	朝食	
8:00		チェックアウト準備 ～10:00 チェックアウト	
8:30			8:30
	受付開始　　荷物を部屋に・着替え	レクレーション　体を動かしてリフレッシュ	
9:00	開講式開会		
			9:30
		インバウンド学生　発表	
			9:50
			10:00
10:30			
10:45	「出会いのオリエンテーション」	グループワーク②　プレゼンチェック	
	レクチャー①　講師：星野 幸子 氏		11:20
			11:30
11:55		グループ発表①　各班 15 分目安	
12:00			12:00
	昼食	昼食	
13:00			13:00
	自由行動　ゆかりの森散策など	グループ発表②　各班 15 分目安	
13:20			
13:30			13:30
	午前のワークショップの振り返り グループディスカッション	休　憩　　審査 感想文・アンケート記入	
14:10			
14:20			14:20
	「女性のエンパワーメント」 レクチャー②　講師：川上 美智子氏	閉講式および成績発表・表彰式	14:30
15:20		RYLA セミナー終了　解散	
15:30	「グローバリゼーション ×SDGｓ」 レクチャー③　講師：富田 敬子氏		15:30
16:30			
16:40			
	これまでの感想発表		
17:00			
	講義終了　休憩　移動		
17:10			
17:30			
	夕食　　各グループで BBQ		
18:50			
19:00			
	入浴　グループワーク①(各自で)		
21:30			
	消灯		
22:00			

開講式　3月11日　9:00開始

司会者：今川　武彦

1.	点　鐘	ライラ実行委員長（ガバナー）	大野　治夫
2.	開校式開講の挨拶	青少年総括委員長	高田　稔美
3.	支援アドバイザー挨拶	青少年支援アドバイザー	井上　壽博
4.	支援アドバイザー挨拶		川上美智子
5.	地区委員・ライラ実行委員紹介		
6.	ガバナー挨拶	ライラ実行委員長（ガバナー）	大野　治夫
7.	ライラセミナー日程説明	ライラ実行副委員長	今川　武彦
8.	ローターアクトクラブの紹介	地区ローターアクト委員長	安　　圭一
9.	インターアクトクラブの紹介	地区インターアクト委員長	斎藤　佳昭
10.	青少年交換生の紹介	地区青少年交換委員長	宇留野秀一
11.	激励の言葉	青少年奉仕カウンセラー	中村　澄夫
12.	開講式閉会の辞	ガバナーエレクト	大髙　司郎
13.	点　鐘	ライラ実行委員長（ガバナー）	大野　治夫

表彰式ならびに閉講式　15:00開始　司会者：今川　武彦

表彰式

1. 最優秀研修グループ(1G)　ライラ実行委員長（ガバナー）　大野　治夫
2. 優秀研修グループ（１G）　ライラ副実行委員長　今川　武彦

1. 閉講式
2. 点鐘　ライラ実行委員長（ガバナー）　大野　治夫
3. 開会の挨拶　青少年総括委員長　高田　稔美
4. ガバナー挨拶　ライラ実行委員長（ガバナー）　大野　治夫
5. 講評　青少年奉仕カウンセラー　中村　澄夫
6. 所感　ガバナーノミニ―　大高　司郎
7. 閉会の挨拶　ガバナーエレクト　大久保博之
8. 点鐘　ライラ実行委員長（ガバナー）大野　治夫

受講者 修了課題

水城高等学校 インターアクト部の皆様

羽方　健人さん

１・講演のなかで最も印象に残った点
一つ一つの目標が相互に関係している。
どれか一つでもダメなら意味がないなと感じました。

2.ディスカッションの他人の意見で共感を覚えた点
SDGｓを考える際に大切なことは、どのようにしたら自分事として考えられるか。

3. 今後ＳＤＧｓの項目の中で自分が取り組んでいこうと思った項目
陸の豊かさも守ろう
海の豊かさも守ろう

４．セミナー全体の感想
ＳＤＧｓ名前は聞いたことはありましたが、知っていたことはただ一つ、２０３０年までに達成すべき目標であることだけでした。
しかし、３人の先生方の公演を聞くことでＳＤＧｓがどのようなものなのかを知ることができました。しかし、軽いイメージができただけでそれを身近なものとしてとらえることは難しかったです。そんな中でいろいろな方とお話をすることで身近なものと結びつけることができ、私は何ができるのかを考えることができました。
ＢＢＱや運動を通して、性別・年齢・国籍にかかわらず楽しくコミュニケーションをとることができました。来年もぜひ参加したいです。

高橋　幸希さん

１・講演のなかで最も印象に残った点
たった一枚のイラストからSDGsの視点から想像を膨らませて行うグループディスカッション

2.ディスカッションの他人の意見で共感を覚えた点
イラストが将来の資源の状態にもたとえることができる点

3. 今後ＳＤＧｓの項目の中で自分が取り組んでいこうと思った項目
5番　ジェンダー平等を実現しよう/まず自分自身が男女差別をなくし個人の考えを尊重する
12番　つくる責任，つかう責任/自分の行動が環境にどのような影響を与えるかを考えたうえで必要ないなら使わない，ゴミ削減に協力，公的な認証のある商品の購入
14，15番　海，陸の豊かさを守ろう/地域のクリーン活動への参加，ごみの分別，温室効果ガスを排出するものの使用の抑制

また，行動するうえでまずは正しい知識を身に着け，間違った行動をとらないこと

４．セミナー全体の感想
残念ながら一日目の午前中で早退という形になってしまったが，本当のディスカッションを知ることができた。あの短時間であそこまで考えられるのか！という驚きが大きかった。しかも考えの根拠や内容がしっかりしていて，自分とはレベルの違いを感じるほどだった。
もし来年も開催されるのなら，車酔いの対策を立てたうえでもっと交流したい。

森谷　夏実さん

１・講演のなかで最も印象に残った点
　女性のエンパワーメント
　日本の男女格差は156か国中120位であり、女性の政治参画が0.1%もないなんて驚いた。確かに国会などの映像を見ていると男性が多いように感じる。また、政府や県がSDGs５　ジェンダー平和を獲得しようを解決するために、目標を立てたり、法の改正を行ったりなど対策をしていることを知った。私たちが働きだすころにはもう少し、女性の地位が向上していると思う。

2.ディスカッションの他人の意見で共感を覚えた点
　・一番大切なことは生涯学び続けること
　・一方通行ではなく循環する形にすること
　・将来影響が出ることも今の世代が理解して、自分のことのように対策を考え、行動すること

　今後ＳＤＧｓの項目の中で自分が取り組んでいこうと思った項目
　４質の高い教育をみんなに
　私はSDGs4を解決するために、まずは世界の現状をしっかり理解し、自分が教育を受けられることは当たり前ではないことを心の中にとどめながら学び続ける。そしてそれを周りの人にも伝え、次の世代に伝えていくことが大切だと考える。自分ができることから始めようと思う。

４．セミナー全体の感想
　ほかの国の人たちと仲良くなる機会なんてなかなかないので、参加できてよかった。また、いろいろな年齢、国、性別の異なる方々と交流することで、自分の新たな一面、新しい友達、新しい学びを得ることができた。
1人で資料を作る時より、グループで行うといろいろな意見があるのでまとまりにくく、作るのが大変だったが、完成した時の達成感がその分大きく、今後の人生の中でためになる良い経験ができたと感じる。また参加したい。

川村　拓海さん

1.講演のなかで最も印象に残った点
　SDGsの一つ一つのゴールがそれぞれ繋がっていること。
　当たり前という定義を無意識に押し付けている。

2.ディスカッションの他人の意見で共感を覚えた点
　困ったときはお互い様。助け合いながら生きていく世界。愛のある世界。
　ビリーブ。

3.　今後ＳＤＧｓの項目の中で自分が取り組んでいこうと思った項目
　12.つくる責任つかう責任

４．セミナー全体の感想
　グループ内ではそれぞれが考える理想の世界などが聞けた。
　個人的には話し合いの時間が多く、たくさんの人と話し合える良い機会だった。

川端　さくらさん

１・講演のなかで最も印象に残った点
　好意の返報性という言葉には初めて出会った。今後の活動で利用していきたい。SDGsは本当に多くの人の気持ちを背負って完成された、未来のための目標なのだと知り、より達成に向けた社会づくりへのやる気が上がった。

2.ディスカッションの他人の意見で共感を覚えた点
　助け合いの社会を実現したいということ。このような意見は何となく建前、綺麗事として捉えられる社会の傾向が確かにあって、口にするのを躊躇したこともあったが、今回ディスカッションを通して皆が助け合いの社会を望んでいることが分かって良かった。

3.　今後ＳＤＧｓの項目の中で自分が取り組んでいこうと思った項目
　「平和と公正をすべての人に」

４．セミナー全体の感想
　次世代のリーダー育成のためのセミナーを受けられたことに幸福さ、有難さを感じている。SDGsは、はじめこそ私の、悲しいことが起こっている社会を変えたいという思いに火をつけ、また多くの人がそうなったと思う。しかし、宣伝文句として使われたり、過激な活動で混乱を招いたりしたころから、私は社会に不信感を持つようになった。期限内での解決はごまかされるようにして達成されないのだろうと思っていた。
　しかし、ライラセミナーで出会った社会人の方、大学院で学んだり、日本で働いたりしている留学生の方、そしてロータリアンの方が語ることが、私の諦観を変えてくれたと思う。少なくとも、一歩一歩、SDGsや社会の現状を知ることから熱意をもって行ってくれていることは、持続すれば、私たち世界市民の大きな意識改革になる。ライラセミナーには自分が望む社会の姿を自由に心置きなく話せる、それぞれの意見を尊重し、深め合える環境があった。私はそのことに未来への希望を感じた。そして私と同じように未来に諦観を抱く若者にこのことを知らせたいと思うようになった。
未来について、自分について深く考え、議論できる場を私達が作り、社会は変えられる、そう信じることの大切さを伝え続けることで、私のような若者に希望を与えられるリーダーになりたい。

高根澤　龍輝さん

１・講演のなかで最も印象に残った点
自分とは違う考えを持つ人がたくさんいるということをあらためて実感できたこと。
講師の先生の率直な意見を聞けたこと。

2.ディスカッションの他人の意見で共感を覚えた点
ＳＤＧｓは本当に正しいのか、偉い人の価値観を押し付けているのではないのかという意見に対して、とても共感した。

3.　今後ＳＤＧｓの項目の中で自分が取り組んでいこうと思った項目
平和と公平をすべての人に
海の豊かさを守ろう

４．セミナー全体の感想
グループディスカッションの時間が短く、講義の時間が長いと感じました。グループワークの時間を増やすことでもっとよりいい案がでて、それを深めていけるのではないのかなと思いました。

思い出の写真集

IMAGINE
ROTARY

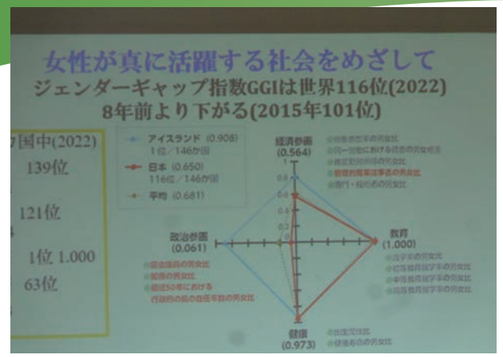
第 43 回 RYLA SEMINAR

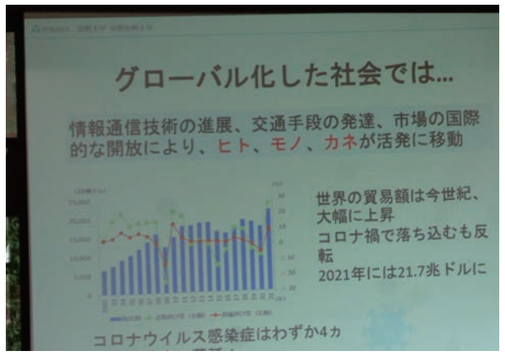
第43回 RYLA セミナー Rotary
出会いのパフォーマンス
2023年３月11日
2022-23年度クラブ奉仕総括委員長
堂野 幸子（水戸西RC）

女性のエンパワーメント
川上 美智子
IMAGINE
ROTARY

IMAGINE
ROTARY

IMAGINE
ROTARY


女性が真に活躍する社会をめざして
ジェンダーギャップ指数GGIは世界116位(2022)
8年前より下がる(2015年101位)
139位
121位
1位 1.000
63位
アイスランド (0.908)
日本 (0.650)
平均 (0.681)
経済参画 (0.564)
政治参画 (0.061)
教育 (1.000)
健康 (0.973)


グローバル化した社会では…
情報通信技術の進展、交通手段の発達、市場の国際的な開放により、ヒト、モノ、カネが活発に移動
世界の貿易額は今世紀、大幅に上昇
コロナ禍で落ち込むも反転
2021年には21.7兆ドルに
コロナウイルス感染症はわずか4カ